「頑張ろう！高梁」高梁音楽祭2019の開催

高梁音楽祭実行委員会

活動の目的

実行委員長と副委員長は地元音楽団体の代表をつとめ、普段より「童謡のまち、音楽のまち」の実現に取り組んでいる。現在、行政の支援も頂きながら、地域全体にこの輪を広げていく活動を行っている。また、ここから派生した岡山県内を音楽で盛り上げよう！というプロジェクト「OMAP（オーマップ）という取り組みにもつながっている。音楽祭は今年7回目を迎えるが、昨年の西日本豪雨の被災をうけて「頑張ろう！高梁」をテーマに、被災者支援の募金活動も展開しながら、音楽祭全体の輪を広げて、地域文化の創出に貢献したい。

活動の内容及び経過

- 高梁音楽祭実行委員会は、高梁市の芸術文化の発信を目指し、2012年に地元の音楽団体代表や有志により結成。
- 昨年は第6回目を迎えて、市内各所での音楽イベントに挑戦。高梁市の後援も頂きながら、「高梁市と県北を音楽で元気に！」をスローガンとして日々活動を行っている。
- 2019年は、「音楽で地域を元気に！」は勿論のこと、昨年おこった西日本豪雨の被災者支援を募金活動を通じて、実質的な支援を行いたい。
- この度、高梁音楽祭は7回目を迎えるが、各イベントのクォリティを高め、地域の自慢となるような音楽祭に育てていく一歩としたい。

活動の成果・効果

- 地元の有志によって企画されスタートした音楽祭であるが、高梁市の後援等も頂きながら、その活動は市民全体にも認知されてきている。
  今年は、「頑張ろう！高梁」をテーマに、音楽祭会場で西日本豪雨の被災者支援を募金活動を行い、岡山全体にこの支援の輪を広げた。
- この音楽祭を通じて、市民に一体感が生まれ、災害で落ち込んだ地域の雰囲気も明るく出来たのではないか。
- また、ゴールデンウィークに市外・県外の皆さんが高梁市へ足を運んでいただく、一つの材料になり得ると感じた。

今後の課題と問題点

昨年の西日本豪雨の被災もあり、昨年補助をいただいた高梁市の文化振興基金の申請を今年は見送る。

広報誌や回覧板などにおける広報など、引き続き高梁市の支援は頂いたが、財政的支援は0ベース。全てを協賛金と事業収益でまかなうことは厳しかった。今後も資金不足は見えており、実行委員会の持ち出しの可能性が大である。

特にプロのゲストに対応するべく、音響・照明のクォリティは保持していきたい。

●代表者：井上友裕　●所在地：高梁市津川町今津
●TEL：086-238-7558　●E-MAIL：info@lugz-music.jp
●URL：http://www.omap.asia/takahashi
●設立年：2012年　●メンバー数：13名